

# 冷凍ケーキ、タイで生産

## 五洋食品

冷凍ケーキを製造する五洋食品産業(福岡県糸島市)は今夏から、タイで冷凍ケーキの生産を始める。現地の食品工場で製造したケーキを、現地のコンビニエンスストアなどで販売する。同社が海外でケーキを製造するのは初めてで、年間5000万円程度の売上高を目指す。現地生産は中国などにも広げ、海外事業の拡大を目指す。

タイでの生産では、現地でパンや菓子製造するスリファペーカーリーの工場内に専用の生産ラインを設ける。まずはベー

## 現地コンビニで販売 海外拠点 拡大めざす

大を目指す。

販売価格は1個約40円(約140円)を予定する。現地のコンビニで売られているケーキは1個30円程度が一般的。少し高めの価格設定となるが、パートの洋菓子専門店で販売される製品よりは安く、日本のコンビニで作っていることも訴求することで見込んでいる。藤永晋也取締役は「日本の最先端のケーキは現地でも人気になるのでは」と意気込む。

五洋食品はこれまで、日本で作った冷凍ケーキを米国や香港などに輸出し、それぞれ年間3500万円ほど売り上げている。タイにもスリファペーカーリーが受け手になるなどで、2015年から輸出してきた。ただ、輸出コストがかなり販売価格が高くなるため、現在は輸出を止めている。現地の販売価格に合わせるため、現地生産に踏み切る。

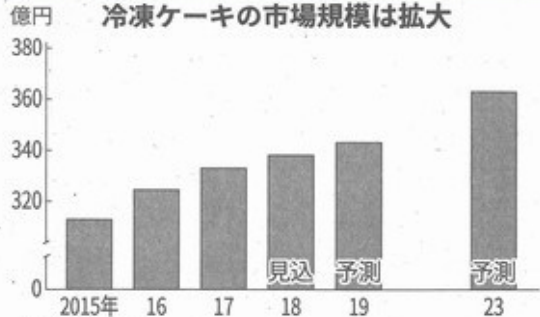
タイでの生産システムを基本に5年以内に中国

で2カ所、それ以外の国で1カ所、現地生産の拠点を増やす計画だ。海外事業での売上高を5年後には現在の約5倍となる3億4000万円を目指す。海外と並行して国内での生産体制も強化する。五洋食品は17年に本社工場を増設したが、人手不足もあって思うように生産量を増やせていなかった。

今後は生産の自動化を積極的に進め、まずは約2億円を投じて主力商品であるモンブランの生産ラインにロボットを導入する。舛田圭良社長は「自動化を進めることで安定した生産が可能になる。人と機械のバランスが最適となる工場を造りた

た。新築大前の五洋食品の売上高の7割は国内のレストランやカフェ向けの業務用となっている。国内では小売店への販路も拡大し、海外事業の強化と合わせて、22年5月期までに売上高を現在の約9割増となる40億円まで拡大することを目指す。(福井健人、大城夏希)

冷凍ケーキの市場規模は拡大



(注)富士経済調べ



タイではまず、ベークドチーズケーキを生産する

## 求人数7カ月ぶり

### 九州6月 福岡・沖縄

九州経済調査協会は、ハローワークの求人数が、九州の有効求人数は11万8千件で、5月に比べて0.3%増えたと発表

した。宮崎県や鹿児島県などで数値が改善し、7カ月ぶりに前月比でプラスに転じた。ただ沖縄県

や福岡県は1%前後の減少となった。ハローワークインター

ネットサービスに掲載されている求人数を毎日取得し、最大値を件数とする有効求人倍率の動向を占う先行指標になる。

九経調によると、6月